

## 鹿沼市文化財保存活用地域計画策定に係る市民ワークショップ 「見つけよう・つなげよう！地域の宝」 開催報告

### 【第1回】

1. 講座名 第1回「見つけよう！地域の宝」
2. 日時 令和6年12月15日（日）午前10時00分～午後12時00分
3. 会場 文化活動交流館 創作工房室
4. 参加者数 17名（A,B,Cの3グループに割り振った）
5. 内容

#### 【前半】掘り出し

各グループ内で「地域の宝」（地域に根付き文化財等で継承していくべきモノ・コト）を挙げてもらい、その「宝」を白地図上に付箋でプロットしていった。

#### 【後半】発表

発表前半の作業に基づき各グループによる発表を行った。挙げられた「宝」の内から、特に2、3個を選び、それらについて詳しく紹介（名称、特徴、一押しポイント等）してもらった。

#### ・Aグループ

メンバー	栗野1、鹿沼2、菊沢1、東部台1 計5名
地域の宝	井戸湿原、日瓢鉦山、強飯式、大麻、用水（栗野・板荷・武子）、深岩石、縄文ひすい、加園石灰、板荷茶（茶工場）、朝鮮人参、大光寺（栃窪）、明神前遺跡、奈佐原文楽、中島用水、帝国繊維、例幣使街道、宿場、山城、しもつかれ（初午・稲荷・節分との関係）、星の宮
発表・意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のテイセン鹿沼工場につながる、生産から活用までのサイクルから成る鹿沼独自の「麻の文化」がある。</li> <li>・久保田堀や中島陽水をはじめ多くの用水路やため池が残り「水」（用水）の重要性が感じられる。幾筋の河川が流れ旧村単位に育まれた文化は「沢の文化」とも呼べる。</li> <li>・日光道中、例幣使街道が通うことで江戸や京都からの往来もあり奈佐原文楽等の「街道の文化」が育まれた。</li> <li>・各地域に神社が残り信仰形態も多様。「しもつかれ」の供え方にも鹿沼独自の風習がみられる。</li> </ul>

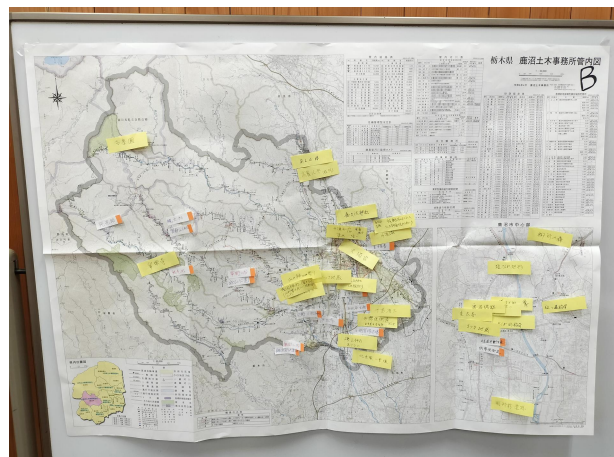
#### ・Bグループ

メンバー	栗野1、鹿沼1、北押原1、北犬飼1、北部1、東部台1 計6名
地域の宝	古峯園、発光路、常楽寺、粕尾城、賀蘇山神社、栗野城、城山公園、久野小松神社、深程小松神社、医王寺、諏訪山城、鍛冶谷沢遺跡、大麻、アンバ様（板荷）、朝鮮人参、喜久沢神社、千渡城、宝性寺、天満宮（天神町）、芭蕉の笠塚（光太寺）、鹿沼箒、浅間神社（富士山）、さつき地蔵、生子神社、奈佐原文楽、千葉県三、例幣使街道、日光道中壬生通り、御所の森、塩舐め地蔵、鹿沼城、掬翠園、蟬が淵稲荷、狐が森稲荷、明神前遺跡

発表・意見	<p>・Bグループでは3つの「宝」を特に説明したい。</p> <p>①光太寺。芭蕉が奥の細道の旅で宿泊したと伝わり「笠塚」がある。</p> <p>②鹿沼箒。かつて日本一を誇った。現在は増形早苗氏によって担われており今後とも継承していかなくてはならない技術である。</p> <p>③清洲地区の文化財。久野小松神社の関白流獅子舞など。深程小松神社は大正6年に7つの神社が合祀したこと等、清洲や栗野の神社について調べていきたい。無くなった神社跡も何らかの方法で保存していければよい。</p>
-------	--

・Cグループ

メンバー	板荷1、鹿沼1、北押原2、北部1、東大芦1 計6名
地域の宝	古峰ヶ原神社、録事尊の村廻り、発光路の強飯式、賀蘇山神社、神代杉切株、双体道祖神、野州麻、栗野城、防空監視哨、岡堰（二宮堀）、旧栗野中学校、医王寺、南摩ダム、尊徳の廻村ルート（日光→小来川→大久保）、板碑、神舟堰、二宮神社（大葦神社）、虎岩（大芦川）、高畑堰と二宮堀、石裂山、加蘇山千本かつら、熊野神社（石裂）、朝鮮人参、アンバ様、久保田堀、吉良堀、木喰堂、鹿沼五弁天、千手山公園、御殿山公園、天満宮（天神町）、今宮神社、パブリックアート、生子神社（泣き相撲、日の出祭り）、金売り吉次の墓、北赤塚一里塚、判官塚古墳
発表・意見	<p>・観光ボランティアの活動の中で、宿場や街道に係る史跡を案内していきたい。街道を介した宇都宮・壬生・日光等、他地域との係りも重要である。</p> <p>・二宮金次郎及び弥太郎や門人によってなされた報徳仕法は鹿沼と日光に跨っている。両市の協力により調査・保存活用を深めていきたい。尊徳の日光鹿沼における廻村ルートなども知ってもらいたい。</p>



## 【第2回】

1. 講座名 第2回「つなげよう！地域の宝」
2. 日時 令和7年1月26日（日）午前10時00分～午後12時00分
3. 会場 文化活動交流館 創作工房室
4. 参加者数 13名（A,B,Cの3グループに割り振った）
5. 内容

### 【前半】ストーリーづくり

各グループ内で挙げられた「地域の宝」（地域に根付いた継承すべき文化財等）を、結びつけるストーリー（共通項、テーマ）を考える。

### 【後半】発表

前半の作業に基づき各グループによる発表を行った。ストーリー及びそれを構成する文化財の紹介。

## ●発表内容

### ・Aグループ

メンバー	鹿沼2、東部台1 計3名
発表内容	<p>ストーリー①「鹿沼を支えた産業」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・豊かな自然が齎す資源や生産物によって、鉱産業・木工業・農業等の多様な産業が育ち鹿沼の発展を支えた。</li><li>・構成する文化財：石灰（加園）やマンガン等の鉱産物、鹿沼組子に代表される木工、ニラ・イチゴや野州麻（鼻緒等）や箒草（鹿沼箒）などの加工原料としての農産物。</li></ul> <p>ストーリー②「生活に組み込まれた祭り」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鹿沼ではハレの行事として生活の中に組み込まれた祭りが継承されてきた。</li><li>・構成する文化財：楡木大杉神社例祭、奈佐原文楽・神楽等祭りで招聘される芸能、生子神社日の出祭り、今宮神社祭の屋台行事</li></ul>

### ・Bグループ

メンバー	鹿沼1、北犬飼1、北部1、東部台1 計4名
発表内容	<p>ストーリー「寺社やそれに係る伝説が多く残るまち」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鹿沼には多くの社寺が残り、市街地には社や小堂など宿場の名残も多い。人々の信仰も篤くそれらに纏わる口碑も多い。</li><li>・構成する文化財：雲竜寺（鈴木石橋や山口安良の菩提寺）、光太寺（芭蕉の笠塚碑がある）、宝蔵寺（漣洲の六歌仙画）、薬王寺（家康の日光改葬の際に逗留、鎧塔）、喜久沢神社（藤房伝説）、生子神社（42種供物→生子の謂れ）、さつき地藏（悲話、三吉川）、蟬が刈稻荷（白蛇伝説）</li></ul>

・Cグループ

メンバー	板荷 1、鹿沼 1、北押原 1、北部 1、東大芦 2 計 6 名
発表内容	<p>ストーリー①「二宮尊徳や報徳仕法に係る文化財」</p> <p>二宮尊徳らにより行われた日光領における報徳仕法に関する史跡や遺構。現代まで及ぶ農業の発展に寄与した。日光市との連携協力も必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・構成する文化財：報徳仕法により施工された堰や堀（岡堰・神舟堰・久保田堀・吉良堀。現在使用もあり）、大芦神社（金次郎霊祠・石灯籠）、久保田讓（板荷等で報徳仕法実施。学校教科書副読本で取扱）、各学校の金次郎像（テイセン内にもあり）、金次郎の廻村ルート。</li></ul> <p>※この他、鹿沼宿は周辺村との祭りの囃子手を依頼する等、繋がりも深く「鹿沼宿と村々の係り」というテーマで文化財をつなげることも可能ではないかという意見があった。</p>

